



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

第21号

発行:2008年1月15日
発行責任者:
特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守



年 頭 所 感

～ 今年の展望と昨年の総括 ～

常務理事 池島 守

新年あけましておめでとうございます。今年は晴天続きで明るい年明けとなりました。

昨年法人全体として、一番大きな事は、ほうゆう病院に認知症の世界的権威小阪先生を院長として迎える事ができたことです。新しい院長の指揮で、今年はさらなる飛躍を期待します。

湘南泉病院では、昨年病院機能評価の審査を受けました。また昨年は、患者様に快適な入院生活を送って頂くためすべての個室をやさしい木目調にリニューアルしました。昨年からの続きになりますが、急性期一般病院としての生き残るため、DPC準備病院に手をあげております。今年も引き続き継続してまいります。そして、昨年立ち上げた在宅医療部にも今年は、期待します。

新中川病院は、昨年は、医療業界の流れをよみながら院長を中心に方向性を模索している最中でしたので、今年は結果を期待します。

阿久和鳳荘は、老健としてのサービス、健全運営を昨年同様に期待します。

今年は診療報酬改定の年にもあたっております。今年も医療を取り巻く環境は決して平たんなものではありませんが、職員の皆様が常に目的意識を持ち、患者様のことを第一に考え、実践していく

行動力があれば必ずや地域の皆様に愛される病院として支持を得ることが出来ると確信しております。いまや患者様へのサービスを怠った病院は、淘汰される時代です。職員の皆様の努力と、日頃よりご支援いただいております各方面の関係者のお陰をもちまして、昨年度も医療法人社団鵬友会は、堅実な成長を遂げることが出来ました。これからも、地域に根ざして良質な医療の提供を通じさらなる貢献と法人としてのますますの発展を目標に新春にあたって改めて職員一同、気持ちを引き締めて各自の業務に臨んで頂きたくお願い申し上げます。そして本年も患者様にとって、鵬友会の職員にとってよい年でありますよう、心より祈念いたします。

本年もニュースレターをご愛読宜しくお願い致します。



こんにちは！総合案内です

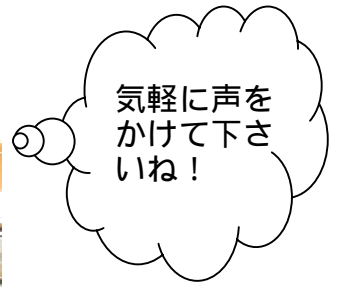
湘南泉病院の正面玄関左手に案内カウンターを置き、患者様サービスの向上を図るため、平成16年4月より総合案内を開始いたしました。

インフォメーション係を勤めて、間もなく2年になります。当初は病院の様子がわからず、とまどうことも多かったのですが、今は概ね対応できるようになりました。通院される患者様御家族、関連の老人施設の職員方とも顔見知りになり、お声をかけていただいております。

私としても病気や看護について、さらに看護学校への進学等の質問にもお答えできるように努力いたします。

インフォメーションからは、玄関、受付、会計、待合室が見渡せて人の動きがよくわかります。来院される方々をなるべく注意深く観察して不都合があればお尋ねするようにしています。まだまだ、配慮が足りないと思いますが、皆様のお役に立てるようこれからも頑張ります。

看護師 菅野 厚子



【総合案内業務実績】

	9月	10月	11月
案内（新患・再診・施設等）	7	12	15
相談窓口振り分け （地域連携室・医事課・経理等）	47	51	56
相談対応	45	55	48
介助等	28	20	22
合計	127	138	141



第10回 介護支援専門員
国家試験（ケアマネージャー）
合格おめでとうございます！！



ほうゆう病院

看護部 (介護福祉士) 草刈 幸
地域連携室 (精神保健福祉士) 古田 祐樹
地域連携室 (精神保健福祉士) 村上 悟士

頑張ります！
これから一生懸命がんばりたいと思いますので宜しくお願いします。
これから誠心誠意がんばらせて頂きます。宜しくお願いします。



阿久和鳳 通所り八
(介護福祉士) 井上 泰子

気が付くと奥深い介護の世界にどんだんのめりこんでいました。これを機に初心にかえって、介護社会の良き一員になりたいと思います。



新中川病院 禁煙外来 医師 加濃 正人

昔は病気だと認識されていなかった身体や心の異常が、病気であると認識されるようになることで、病院で治療できるようになりました。糖尿病や高血圧も、昔は病気ではありませんでした。パニック障害や外傷後ストレス障害（PTSD）も最近生まれた病名です。現在これらの病気は、薬や生活指導を含めきちんとした治療を受けることが当たり前になり、それによって多くの方が健康を取り戻しています。

喫煙はさまざまな病気の原因になることが以前から知られていましたが、最近では、タバコを吸うこと自体が「ニコチン依存症」という病気であることが分かってきました。平成18年からは保険で禁煙のための治療が受けられるようになり、全国の病院で、医師の指導や禁断症状を緩和する薬の助けを借りて、多くの方が完全禁煙に至っています。
(新中川病院の禁煙外来は、予約制で行っています。045-812-6161)